



教務部より

2年の半分が終了し、高校生活も残り半分となりました。実際には後半はもっと短いので、高校生活はすでに折り返し地点を過ぎていることとなります。登山で言えば五合目付近。後ろを振り返って、ずいぶん進んできたな、目標の頂上が近づいてきてはいるものの、まだ遠くにあるなと思っている人も多いでしょう。

とにもかくにも、今は大きな節目です。今年度前半としてばかりでなく高校生活前半の学習の取り組みとして前期成績を見てください。一喜一憂して終わりにせず、これまでの取り組み方を振り返り、その反省を行動に変えましょう。人それぞれ違いますが、何かしらのアクションを起こしましょう。自分で考えて行動を起こしましょう。自分で行動を起こし継続すれば、自信につながり大きな力となります。後期はぜひ、自分で変化を起こし継続する期間にしていきましょう。多少の苦労は伴いますが、必ず成果となって現れます。そのようにして培った力がこれからの険しい道のりを乗り越えるのに大いに役立ちます。今の苦労が必ず喜びとなることを信じて、登頂時のすばらしい景色を夢見て残りの道のりを進んでいきましょう。

進路指導部より

探究活動（調べ学習）が始まりました。昨年はグループに分かれて行いましたが、今年度は、各個人で進めることとなります。自分でテーマを設定して、仮説を立て、検証し、自分なりの解決策をまとめるレポート作成は、今後、進学後においても、必要とされる力です。また、大学入試においても、探究に関して問われることも最近の傾向としては高いようです。問題意識をもって、取り組んでいきましょう。11月6日（土）に次回の進研模試が実施されます。それに向けて今は、じっくり腰を据えて勉強に励んでください。今後、外部で実施される模擬試験の案内も行っていきたいと思います。良い刺激になると思います。積極的に参加してほしいと思います。



生徒指導部より

前期期末試験の最終日である9月10日（金）に、2年生になって2回目の頭髪服装検査を実施しました。普段身につけている制服に合う高校生らしい外見に整えることは、今後3年生の受験期を迎える事を考えても、非常に大切なことです。先日、他県のある高校において残念ながらコロナウイルス罹患のクラスターが起きてしまいました。それに対する近隣住民のコメントで非常に興味深いものがありました。「あの高校の生徒は普段から服装もだらしがないからマスクなどの対策も適当だったのだろう。仕方ない。」これを読んでみなさんはどう思いますか？家庭や学校は、もちろん生徒の皆さんをその内面までよく見えています。勿論「外見だけでは人の全ては分からない」という考え方もあるでしょう。しかし、登下校中に出会う、近隣の住民の方たちはどうでしょうか？第一印象、つまり服装や頭髪の印象のみで皆さんのことを理解するしかありません。しかも、たった一人の服装が乱れた生徒がいるだけで、「郡山東高校」全ての印象となってしまうことも当然あります。みなさんは制服を着ている以上、日々「郡山東高校」の看板を背負っているのです。

10月1日（金）より衣替えとなります。気持ちも新たに、この高校の生徒であるプライドを持って、周囲の人が応援したくなるような清々しい姿で生活することを心がけましょう。